

株式会社トーケン

微細加工技術で
模倣できないメダルを製作

2種類の金属を用いたバイメタルコイン

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有業務
内容
遊技用コインの
トップメーカー

遊技用や販促用、店舗のサービス提供用などさまざまなコイン、メダルの製造を手がける。遊技用コイン市場ではシエアトップ。デザイン設計から金型製作、プレス加工までの一貫生産体制を備え、専業メーカーとしてユーザーの多様なニーズに答える。ユーロ硬貨などに見られる2種類の金属材料を用いた「バイメタルコイン」を内製している国内唯一のメーカーであり、高い技術力は安価な海外製品にない付加価値を提供する。

遊技業界向けにはコイン洗浄機やストッカーなどの付帯設備も販売し、コインを利用する産業を総合的にサポートしている。



高度な製造技術が独創的なメダルを生むバイメタルコイン

強み
3次元設計で
従来にない輝きを

従来にない輝きをメダルに持たせる微細加工技術と高い品質要求に答える独自設備が強み。3次元CAD/CAMを駆使した繊細なデザインを高精度工作機械で金型に起こし、平彫りでは出せないラインと陰影をメダルに付ける。こうした加工は美しさを高めるとともに、目視でのメダルの差別化を可能にし、不正使用の防止にも寄与する。競争力の高いバイメタルコインでは内側部材の外周に特殊な加工溝を作って外側部材と嵌め合わせる独自の製造方法を確立した。作業要領や寸法精度、測定

技術
開発
積極的な技術導入で
ニーズを満たす

基準などを基準工程表・工程図として標準化して管理も徹底し、高品質の製品をユーザーに安定供給している。

技術は顧客ニーズから獲得してきた。バイメタルコインも「ユーロ硬貨のようなコインができないか」という声に答えたものだ。「摩擦で塗装が落ちてしまう」という要望には新潟県燕市の企業が持つ、金属を色付けする表面処理技術を取り入れた。代用貨幣の役割を担うメダルには相応の技術力が求められる。大学や企業のさまざまな技術にアンテナを張り、顧客ニーズを満たすために試行錯誤を繰り返して望まれる製品を作り上げる。これが同社の高い技術力の源泉になっている。

今後の
展望
市場の活性化に期待。
新市場開拓も

遊技用のコインはスロットマシンがブームになった平成18年に約5億枚を出荷したが、市場環境の変化により、需要が急減。年間1億2000万枚まで落ち込んでいた。しかし平成24年から上昇に転じ、昨年1年間の出荷量は2億8000万枚に増加したという。景気の回復感が見られる中、国内ではカジノ解禁の議論も高まりつつあり、今後の市場拡大に期待する。一方、現在、売り上げ構成比で10%程度にとどまる販促用ノベルティグッズなど遊技用以外の分野も広告代理店などへの営業を強化し、ユーザーが買いやすいルートを構築。5年後に30%まで高めたいとしている。

COMPANY PROFILE

株式会社トーケン

大阪
26当社の
歴史

装飾金具メーカーとして創業しましたが、昭和45年に開かれた大阪万博でノベルティグッズを手掛けたのを機に、事業を拡大。昭和52年からコイン・メダルの生産に軸足を移しました。創業者「土屋健造」の「土・健」と、模擬コイン「TOKEN=トークン」をかけたのが社名「トーケン」の由来です。

市場の幅広いニーズに応え、先端技術を駆使し
品質第一にメダルのバラエティーでお応えします。

代表取締役社長 原 正さん



■主な事業内容

コイン・メダル・パッチ・
遊技関連機器の製造・
販売

■主な取引先（納入先）

レジャー施設・アミューズ
メント施設及びその関連、
広告代理店

住 所／〒590-0001
堺市堺区
遠里小野町
3-3-18

T E L／072-224-5373
F A X／072-224-5575
創 業／昭和37年5月
設 立／昭和40年5月
資本金／5,000万円
従業員／40名

<http://www.token-osaka.co.jp>